

[スパークル]
Sparkle
Surugadai University News

2024
summer

特集

世界の頂へ挑戦！ 田中雄己選手

パリ2024オリンピックでカヌースラローム(カヤックシングル・カヤッククロス)に出場する
本学カヌー部の田中雄己選手について、カヌー部関係者にインタビューしました！

CROSSTALK 仲間と共に憧れの消防官を目指して

卒業生紹介 本学の学部・研究科を経て公認心理師を取得 草牧さん

教員紹介 心理学部 和智妙子教授

活動報告 2024年4月～6月

駿大スポーツ #サッカー部 飯竹勇輝 選手

Circle and Me シェリアク×伊藤さん



世界の頂への挑戦!

写真提供：ミキハウス

カヌースラローム パリ2024オリンピック日本代表

田中 雄己選手

スポーツ科学部 4年



藤野監督からのコメント

性格は穏やかで物事をしっかり見極めて前へ進む慎重派なのでベーシックな動作が正確で関節の使い方が柔らかくダイナミックな動きへ繋がりがミスが出にくい選手です。また、修正ポイントの呑み込みが早く判断力・決断力・行動力が優れています。オリンピックでは今までのスタイルを変えることなくダイナミックに攻撃的に最後まで漕ぎきってください。

部員からの 応援コメント

何事にもストイックに取り組んでいる雄己くんの背中を見てきました。オリンピックという夢の舞台ですが、持ち前の勝負強さとフィジカルで十二分に戦ってきてください! パリに届くくらい応援しています。

スポーツ科学部 3年 伊藤 樹生

田中選手には大学へ入学する前からとてもお世話になっていて心から尊敬しています。

改めてパリオリンピック出場おめでとうございます。日本から応援しています。頑張ってください!! 帰ってきたら美味しいものを食べに行きましょう!

スポーツ科学部 1年 今川 亮汰

パリ 2024 オリンピックでカヌースラローム（カヤックシングル・カヤッククロス）に、
本学カヌー部の田中雄己選手が出場します。
カヌー部関係者に、田中選手のプレーヤーとしての魅力や人間性についてインタビューしました。

田中雄己選手のここがすごい！

Point 1

テクニックの再現性

レースの一本一本がとて高いクオリティで漕ぐことができ、練習したテクニックをレースにしっかり再現できる。安定感を持った漕ぎができる。

Point 2

精神力の強さ

己に負けないよう、練習は試合をイメージしてベストパフォーマンスを出すことを常に意識しながら漕ぎをしている。

Point 3

レース強さ

ミスを怖がらずに攻撃的に攻め、ミスから生まれるリカバリーテクニックが優れている。



消防団に入団したきっかけは？

堀江 私が高校生の時に大規模な森林火災が起きました。避難する人達を助け、市民を守る消防官の方を見て、消防官になることが私の夢となりました。そのために、駿河台大学の法学部に入学し、消防団として活動しています。

梅田 私も高校生の時から消防官を目指しています。中学から現在まで続けている陸上競技の経験から得た力を、消防官になり人の命を助けることに使いたいです。消防団の活動を通して様々なことを学びたいと思い、入団しました。

前井 幼い頃から人を守る職業に就きたいと思っていました。消防官には、市民に寄り添い、人命を最優先して行動を起こす覚悟が必要だと思っています。その姿に憧れ、将来は救助隊員になりたいと思うようになりました。将来に向け、知識や体力を身につけるため、入団しました。

普段の消防団での活動内容は？

前井 火災想定訓練や、巡回広報、飯能祭りなどのイベント時に車両通行整備を行っています。巡回広報では、消

Sparkle CROSSTALK

仲間と共に憧れの消防官を目指して

駿河台大学には、地元飯能の消防団として日々活動する学生達があります。今回は、将来消防官になることを目指す学生3名に消防団での活動内容や、埼玉西部支部消防操法大会に出場した感想を聞き、将来の展望についても語っていただきました。



ほりえ るな
堀江 琉那
法学部2年

うめだ だいじゅ
梅田 大樹
法学部2年

まえい こうたろう
前井 皓太郎
法学部2年

防車に異常は無いが、管轄地域で危険な建物や火災が起きそうな場所は無いか確認するために見回りをしています。

堀江 「は組」として広報活動を中心に活動しています。「は組」とは、飯能消防団女性消防団の愛称です。地域防災のために「女性だからこそ発揮できること」を活躍テーマとし、SNSで活動記録や、不測の事態が起きた時に役立つ情報を配信しています。

梅田 私たち消防団にとって特に大事な活動は訓練です。訓練は基本的には所属する分団で行いますが、他分団と合同で訓練するときもあります。この訓練は実際に火災が発生して現場に行ったときに火を消し、町を守るのにとっても役に立ちます。

消防団として活動し、身についたことは？

前井 入団研修など、普段から様々な研修があり、消防に関する知識が身につきました。何よりも消防官を目指すうえで日々の活動がモチベーションアップに繋がっています。

堀江 災害の種類やそれに対する対策など様々な知識が身につきます。避

難所への炊き出し訓練など実践的なことも行うので、実践力も身につきます。そして、社会人の方とも接するので、圧倒的に人脈が広がりました。

梅田 仲間やチームワークの大切さ、そして何をするにしても絶対に感謝の気持ちを忘れてはいけないという心構えが身につきました。例えばお祭りの警備にしても、今までは楽しむ側でしたが、消防団に入って警備する側となり、沢山の方の協力があったからこそ行事が開催できるのだということを強く感じました。経験を通じて、今後もどんなことに対しても必ず感謝の気持ちをもって取り組んでいきたいと思うようになりました。

6月9日に行われた埼玉西部支部消防操法大会はどうでしたか？

堀江 私たちは飯能消防団の学生選抜チームとして出場しました。練習から当日まで周りの人が支えてくれたので、1位になれなかったことは、本当に悔しかったです。

梅田 何より一緒に戦ってくれた仲間とたくさんさんのサポートや応援をしてくださった飯能消防団の団員、全員に感謝の気持ちを伝えたいです。結果とし



ては4隊中3位となり、とても悔しいですが、大会に至るまで全員で努力し、笑い合ってきた時間は一生の宝物になりました。

前井 負けてしまっても悔しかったですが、大会を経てもっと頑張りたい意欲が湧きました。

これからの目標や夢は？

全員 3人揃って消防官になることです！

堀江 熱意とモチベーションを高く持っている仲間と活動できてほんとに嬉しいです。

梅田 今までの経験を踏まえ今後消防団員として、そして1人の人間として努力し続け、頑張ります。

前井 支えてくれた方への恩を返したいです。最大の恩返しは、自分が消防官になって周りの人を助けられる人になることだと思っています。



法学部准教授
倉島 安司

駿河台大学法学部では、学生によるボランティア活動の推進と、飯能市との提携強化を目指して、法学部生が飯能消防団に入団し活動することを積極的に支援しています。ご存じのように消防団は、日ごろ自分の本業を行いながら、ボランティア的に地域の安全に貢献できる仕組みです。入団しても毎日消防団に顔を出すわけではなく、団員それぞれの都合に応じて活動するのが消防団のメリットです。ただし一般のボランティアと違い、消防団員は法制度上「特別職公務員」と呼ばれる非常勤の地方公務員であり、少額ですが報酬も出ます。その意味で消防団員になることは、学生でありながら一足早く社会を知ることができるという意味を持っています。また消防団には、さまざまな年齢や職業の団員がいるので、大学にいたのでは知り合えないような先輩方から、仕事や人生について学ぶことができます。

草牧 知樹さん

2024年3月に第7回公認心理師試験が行われました。

本学の心理学部卒業後、大学院に進学し学びを深め見事合格をつかんだ草牧知樹さんに、学生時代のことや、試験合格までの道のりについてインタビューを行いました。

私は高校生の頃から心理学に興味を持っていました。人が抱える心の悩みや、そもそも「人のころとは何なのか」を考えるきっかけがあり、自分自身を見つめなおし自己理解を深めるためにも心理学を学びたいと思っていました。そして、心理学を学ぶ以上は、その専門性を活かして人を助ける仕事に就きたいとも思っていました。大学受験の際に、心理専門職の国家資格ができるということを知り、自分の中で公認心理師の取得を一つの目標にすると決め駿河台大学に入学しました。

大学時代は主に臨床心理学系の授業を中心に受講していましたが、学んでいくうちにプロファイリングを扱う海外ドラマが好きだったこともあり、犯罪心理学にも興味を持ち始めました。今思うと、それぞれの領域を学べたことは知識を広げるうえでとても良い勉強になりました。

その後、目標としていた公認心理師の資格を取得するため、駿河台大学の大学院(臨床心理学専攻)に進学しました。大学院での学びは、個別指導に近い感覚でした。外部実習もあり、実際に病院や施設などに出向き学ぶことで現場の雰囲気や生の声を吸収することができ、とても貴重な経験を積むことができました。同じ目標を持った友人と切磋琢磨して学べたことも大きな糧となりました。

公認心理師の試験勉強は、院生生活の忙しさと勉強時間がなかなか確保できない中、移動時間も活用し、テキストやアプリを使って行いました。ひたすら過去問を解き、傾

本学の臨床心理学専攻で学びを修めた学生 3年連続で、合格率100%を達成!

向を把握しながら、間違えた問題や知識が曖昧だった選択肢の内容を調べました。試験が院2年次の3月だったこともあり、1月2月の修士論文の提出や口頭試問、修士論文発表会と並行しながら勉強していたため、とても大変でした。時間がない中でも合格できたのは、院1年次の授業や実習、公務員試験の問題で知識と経験が自然と身についたことが大きかったと思います。

公認心理師は基本的には大学院進学が前提の資格です。公認心理師を目指す皆さんには、焦らずに、本当にこの道に進みたいのか、いろいろな経験を積み、悔いのないよう、よく考えて決めてほしいです。それでも資格を取得したいと考えるのであれば、ぜひその気持ちをモチベーションにして頑張ってください。

私自身も、自身の幅を広げるために、大学時代は科学部、高校時代はヨット部、大学時代は音楽と劇団サークルを掛け持ちして勉強以外にも様々な経験をしました。進路を決める時にはゼミの先生が私の興味関心に寄り添い、話を聞いてくれたことで自己理解を深めることができました。

現在は、病院に勤務し、カウンセリングや自立に向けた支援を行っています。まだ就職して2ヶ月ほどですが、自分の実力は伴っているのかと自問自答する日々です。責任を負う立場の人間として胸を張って「プロ」だと言えるよう日々努力しています。11月には臨床心理士の試験も受けるので、引き続き勉強にも励んでいます。

Faculty Introduction

教員紹介

今年度、心理学部に着任された和智教授に
現在の研究に行き着いたきっかけや、
学生に期待することをお伺いしていきます。

犯罪心理学×捜査を 支援するための研究

犯罪心理学の分野の中でも、捜査を支援するための研究を長年やってきました。被疑者取調べ、目撃者に対する事情聴取、被害児童に対する面接などの捜査面接と呼ばれる研究分野や、犯罪者プロファイリングなどです。その中でも最も重視してきた研究は、被疑者に対する取調べの研究で、どのような取調べ手法が被疑者から真実の自白を引き出すのに有効なのかという研究を行ってきました。また、被害児童に対する適切な面接手法についても研究しており、現在は、前職の科学警察研究所の研究者と共同で、児童に対する面接手法の研究を行っています。

捜査心理学を教えるため大学の教職へ

子どもの頃から探偵ドラマや刑事ドラマが大好きで、特にNHKで深夜にやっていたシャーロック・ホームズやエルキュール・ポワロのドラマを楽しみにしていました。高校生の時にFBI心理分析官による犯罪者プロファイリングに魅せられ、私も捜査に心理学的立場から貢献したいと思い、科学警察研究所を目指すことにしました。

当時、日本では犯罪心理学を学べる大学がほぼなかったため、大学・大学院で

は、教育心理学・臨床心理学を学び、修士課程修了後、イギリスの大学院の修士課程に留学し、犯罪学を学びました。帰国後、やはり科警研に挑戦したいと思い、国家公務員試験を受験し、警察庁科学警察研究所犯罪行動科学部捜査支援研究室という部署に採用されました。毎年採用があるわけではないのですが、幸運にも、高校生の頃から願っていた職場で働けることになったのです。ここでは、捜査を支援するための心理学的研究を行っており、犯罪者プロファイリングの研究や実際の事件の助言、都道府県警察の科捜研の心理職の方や警察官に対する研修を行いました。被疑者取調べの研究に携わったところ、非常に面白くなり、私の研究のメインが取調べの研究にシフトしました。

大学では、今までよりも自由に研究ができることを期待しています。当面は、捜査面接に関する研究を行っていきたいと思っていますが、今までできなかった研究にもチャレンジし、他機関の先生たちとも積極的に共同研究ができればいいですね。

ゼミでの学び

ゼミでは捜査を支援するための心理学について教えています。具体的には、捜査に関わる心理学の論文を学生自身で

探し、毎回発表します。発表後は、発表内容について他の学生と議論し理解を深め、論文に出てきた内容に関連するトピックについても議論します。自分の関心あるテーマを探し、論文を読み、他者の発表を聞くことで、いろいろな疑問を持ち、それを自ら調べ、他者と議論する力を養います。

学生たちへの期待

学生には、積極的に学ぶ姿勢を身につけてほしいです。社会に出た時に、積極的に自分の意見を発言できるよう、大学時代からゼミ等で、自分の意見を根拠に基づいて説明できる練習を積んでほしいです。特に、犯罪心理学を学んだ学生たちには、ニュース報道等で犯罪や事件を見た際には、大学で学んだ知識を活かして、多角的な視点から事件を見ることができるようになってもらいたいと思っています。



心理学部

和智 妙子 教授

専門分野 捜査心理学/犯罪心理学/社会心理学

駿河台大学の活動報告 *activity report*



自衛隊埼玉地方協力本部より感謝状贈呈

2024年4月9日

永年にわたり自衛官募集業務に多大な貢献をしたとして、自衛隊埼玉地方協力本部より本学へ感謝状が贈呈されました。

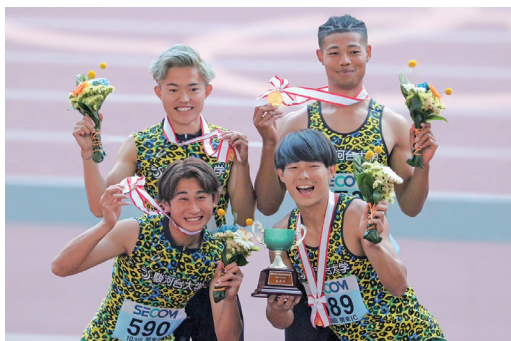
自衛隊埼玉地方協力本部長の竹内浩之一等空佐が本学を訪問し、大森一宏学長に感謝状を手渡しされました。感謝状授与の後は、学長室にて、自衛隊埼玉地方協力本部の皆様と学長、事務局長が和やかな雰囲気の中、ご歓談されました。



学生が「おとろうまつり」に参加

2024年4月20日・21日

入間市の愛宕神社のおまつりである「おとろうまつり」に、本学学生が授業「まちづくり実践」、「現場実習」の教育活動として参加しました。運動部の学生も参加し、90人近い学生がおまつりに携わりました。この活動では、地域の人々と触れ合い、社会人基礎力を磨き、社会観や職業観を高めることを目標としています。参加した学生は、「愛されている祭りに参加できてよかった」と達成感を感じたようです。



関東インカレ男子2部4×100mRで優勝

2024年5月12日

関東学連に加盟している大学が参加して行う陸上競技大会で、関東の陸上選手にとっては上半期の重要イベントである「関東学生陸上競技対校選手権大会」が行われました。本学の陸上競技部も参加し、男子2部4×100mRで見事優勝しました。メンバーは次のとおりです。甲斐日翔（スポ科・1年）佐藤太真（スポ科・3年）金丸凜王（スポ科・1年）ワォーターズ稀杏ディアンドレ（スポ科・3年）



親睦企画「モルック大会2024」

2024年5月17日

フィンランドの伝統スポーツに触れる機会として、「モルック交流会」を開催しました。当日は12名の学生が参加し、4名でチームを組み、試合を行いました。はじめは初対面の人同士で緊張した面持ちでしたが、始まると積極的にコミュニケーションをとる姿や笑顔も多くみられ、大変盛り上がりしました。学生支援課では、モルックの貸出を行っています。昼休みなど利用してぜひ体験してみてください。



公式HP



公式X

その他の活動、最新情報は大学HPやXで更新しています。
ぜひご覧ください。

埼玉県内の20大学が主催！
合同企業説明会

WEB開催

5/29(水) 開催決定！

3部構成【午前1回、午後2回開催】

参加企業 計27社が参加！

メーカー 11社	小売 4社	建設 3社	IT 3社
サービス 4社	商社 1社	公務 1社	

TJUP主催/オンライン合同企業説明会

2024年5月29日

埼玉県内のメーカー企業を中心とした27社をお招きし、オンラインにて説明会を行いました。

参加した学生からは、「企業選びにも役に立つとても有意義な時間になりました」「地域に密着した企業様やまだ出会ったことのない企業様など、さまざまな出会いがありました」「公務員試験ではなくSPIを採用している自治体があることを知れて良かった」といった声があり、学生にとって有意義な時間となったようです。



飯能市国際交流協会との交流会

2024年6月5日

この春にドイツ・ミュンヘン大学と中国・聊城大学から来日した、今年度の交換・派遣留学生の7名（ドイツ3名・中国4名）が、飯能市国際交流協会の方々と交流しました。自己紹介からはじまり、好きな日本文化、これから日本でやりたいこと、またドイツ・中国の家庭料理などについて話し、交流を深めました。今後も協会の方々と伝統的な日本文化の体験やお祭りへの参加などを予定しています。



国税専門官特別講義

2024年6月7日

経済経営学部市川紀子教授担当の簿記原理Ⅰの講義において、国税庁の特別講義が行われました。本講義は経済経営学部の学生のみならず、全学公開講義として開講しました。国税の仕事と簿記の関係について、実際の業務内容、国税組織の業務が社会にとってどのようなものであるかを知る貴重な機会となりました。また、国家公務員に限らず、広く公務員への就職を考えている学生にとっても勉強になったようです。



父母会定期総会

2024年6月8日

第二講義棟14階会議室にて父母会定期総会を行いました。総会では、(1)大学役職者からの現況報告(2)2023年度事業報告並びに決算について(3)2024年度役員の選出について(4)2024年度事業計画並びに予算について話し合われました。

なお、当日は、キャンパス見学会、こころとからだと学習の相談会、学年別就職セミナー、学部別説明会、個別相談、懇親パーティーを併せて実施しました。

限界を超える！
駿大スポーツ

成長に真摯に取り組む

サッカー部



スポーツ科学部4年 飯竹 勇輝選手

現在、関東大学サッカーリーグNortel部に所属する駿河台大学は今年、リーグ戦優勝、プレーオフ、入れ替え戦の出場、そして創部史上初の関東大学サッカーリーグ昇格を目指す。2024年度から主将となった飯竹選手にサッカー部への熱い思いを伺った。

大学サッカーのレベルの高さ

駿河台大学は、飯竹選手の高校までの環境と全く違った。同級生は全国大会に出場経験のある選手や強豪校出身者が多く、対戦相手のレベルも高い。自分と周囲とのギャップを埋めるのに悩んだ。

そんな中、沼大輔コーチから「ユニフォームを脱げば同じ1人の男だ。強豪校なんて関係ない」と、どんな相手でも恐れず1人の男として戦うよう激励を受け、自身の身体能力など通用する部分が必ずある、ピッチに立てば関係ないと考えるようになった。

意見の相違や不満は持ち帰らない

飯竹選手の入学当初は選手同士の話し合いがなく、各々不満を溜め込んでいた。翌年以降は意見は出るが話がまとまらず、選手同士が対立する事もあった。そこで飯竹選手は部員を集めて、自身の思うコミュニケーションについて話をした。

「言いつばなしやりつばなしはコミュニケーションじゃない。自分と違う意見は否定せず、まず飲み込む。そして理解できるように、お互いが納得できるかたちになるまで答えを出す話し合いをしてほしい」
「出た意見はその日のうちに解決しよう。意見に関して不満を持ったままだと

ずっと変わらないが、その日に解決できれば次の日は違う事で話し合える」

対等に意見が出せるチームへ

話し合いの結果、部内は上下関係が無く対等に話せて仲が良いチームとなった。个性的な選手も多く、勢いと活気があり面白い。しかし緊張感を持つべきところでは場の空気を引き締め、勝負所に向けて能力を発揮できるように全体で心がけている。

練習前の集合では、主将がその日の課題を述べた後に毎回ランダムに部員を選んでひと言をもらい、円陣をかけてもらう。選ばれた部員は言葉に責任を持ち、毎回変化を感じてより心に響くようになる。部員の主体性とチームの結束力に繋がる取り組みだ。

創部史上初の関東リーグ参入のために

部の目標は関東リーグに昇格すること。そのためにリーグ戦を優勝してプレーオフを勝ち上がり、入れ替え戦まで進みたい。

個人の目標はシーズンMVPとシーズン7得点。守備の選手で点を取ることは非常に難しいがセットプレーなど自分の特殊さを活かせるところを伸ばして5得点を記録した昨年の自分を超えたい。

そして家族やこれまで指導してくれた方に自分のプレーを見に来てもらいたい。

学生広報スタッフ×キックオフミーティング

学生ならではの表現力で
駿河台大学の魅力を学内外に発信



「学生広報スタッフ」は、学生ならではの視点や発想、能力を生かして、動画撮影や広報誌の写真撮影、SNSにおける情報の発信など大学の広報活動に積極的に携わり、大学の知名度向上およびブランド力の強化に寄与する学生達です。今年度は多くの学生が加わり、現在11名の学生が活動しています。

先日、新たに加わったスタッフを含めた顔合わせミーティングが行われ、自己紹介を通じて学部や学年の垣根を超えて親交を深めました。

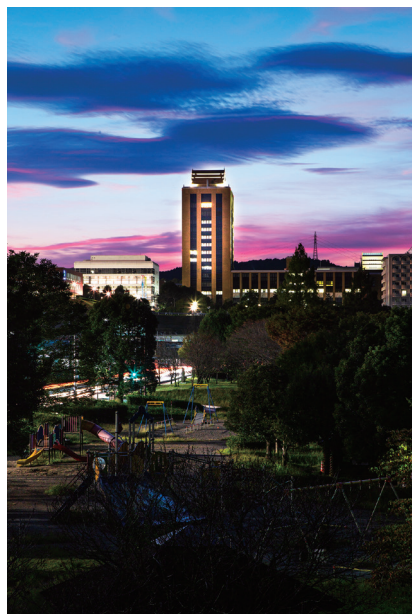
今回は、1年次から「学生広報スタッフ」として活動をしている丸地勇輔さんに今までの活動や、今後についてお話を伺いました。

I n t e r v i e w



メディア情報学部4年
丸地 勇輔

1年生の時から学生広報スタッフとして学生寮や施設案内の動画の制作を行ってきました。広報スタッフでの活動を通して、主体性や計画力、考えていることを形にする力が身についたと感じています。広報スタッフでの活動を通して学んだことを来年からの社会人生活にも活かしていきたいです。



◀大学そばの阿須運動公園の遊歩道から丸地さんが撮影した1枚



パソコンサークル「シェアク」× 伊藤 結音 [心理学部・3年]

**パソコンサークル「シェアク」を
立ち上げたきっかけは何ですか？**

友人とマイクロソフトオフィス
ベシヤリスト(MOS)の勉強やPC
を使うゲームの制作をしたいと思い、
サークルを立ち上げました。元々パ
ソコンの操作が得意ではなかったの
で「初心者でも入りやすく楽しめる」
PCを扱うサークルがあればいいな
と思ったのがきっかけです。

どのような活動をしていますか？

週に1〜2回集まり、タイピング
やMOSの勉強、ゲーム制作をしま
す。駿輝祭では制作したゲームが実
際に遊べる展示を行いました。ゲー
ムを制作したサークル員が来場者に
ルールや工夫した点を説明し、来場
者から率直な意見や感想をもらうこ
とで多くの刺激を受けました。また、
オンラインでも楽しんでいただけ
るようにフリーゲーム投稿サイトに制
作したゲームを投稿しました。

**今後どのような活動をしていき
たいですか？**

「初心者でも入りやすく楽しめる」
の方向性を変えずに、自分たちの技
術を上げて、今まで技術的に難しかっ
たゲームの制作に挑戦していきたい
と思っています。また、MOS以外
にITパスポート等のITに関する
基礎知識を身につける資格にもチャ
レンジしやすい環境づくりを目指し
ていきます。

個人では心理学を応用したゲーム

の構想を練っています。フロイトの
心的構造論という概念を分かりやす
くノベルゲームにしたいと考えてい
ます。

履修科目で好きな授業は何ですか？

「社会心理学」が特に好きです。元々
ジェンダーに興味があり受講しまし
た。心理学がある事柄に対して「人」
をみるのに対し、社会学では同じ事
柄でもその人を取り巻く「社会」から
課題や解決策を考えます。社会心理
学は社会や周囲の人間関係が個人に
どのように影響しているのかを考え
る学問です。実際に起きた事件や過
去の実験結果から社会の出来事がど
のように心理に影響するのか、影響
を受けて変化した心理が起こした行
動がどう周囲の環境に影響するの
かを学びます。ジェンダーも社会や周
囲の環境が変われば定義や考え方が
変わります。社会と人は深く関係し
ていて、互いに大きな影響力を持っ
ていると知ることができました。

多角的な視点を持つきっかけとな
り、他の授業でも今まで学んだことと
結びつけて考えるようになりました。

卒業後の目標は何ですか？

自身と社会が互いに良い影響を与
え合う関係を築くことです。これか
らインターンなど本格的な就職活動
が始まるので、自分の強みや、やり
たいことをしっかりと見極めてやり
残しがないように頑張りたいと思い
ます。